



すずしろ22 2024 2月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 1月の援農集計

	援農時間(h)	参加人(人)	参加延べ人数(人)	農家数(軒)
2024年1月	1,573	65	444	19
2023年1月	1,504	64	427	23
増減	+69	+1	+17	-4

暖冬の影響もあってか、畑周辺の梅の開花が例年より早く始まりました。大根も大きく・太く育ち、大根洗いも重労働となっております……。1月の援農は、ネギ、人参、ほうれん草、大根、里芋の収穫や出荷作業の他、椎茸菌の打ち込み作業やブルーベリーの剪定作業等この季節だけの援農作業も行われました。援農時間や援農参加者数は、昨年1月とほぼ同じ状況でしたが、依頼農家数が4軒の減となりました。この1月も、たくさんの方が援農に参加され、「全員援農」、「分散援農」が続いております。



東京では、スギ花粉拡散の目安といわれている400度(*)を1週間ほど早くなり、スギ花粉の拡散が始まっているようです。花粉症の方にとって厳しい季節の始まりです。その一方、2月早々には大雪が降り、大根畑のトンネルが雪の重みでつぶれるという被害も発生しました。

今年に入っても寒暖差の激しい日々が続いております。引き続き、健康並びに安全最優先での援農参加をお願いします。(援農サポータ北尾)

*400度の法則：1月1日からの最高気温を合計した積算最高気温が、400を超えると杉花粉の拡散が始まるという法則(経験則)。蛇足ながら、桜の開花600時間の法則を次回ご紹介いたします。

理事会報告 2月度理事会 (2/15(木)17:30~20:00)

台町市民センターにて。9名出席)

- ① 総会準備(役割分担、他)
- ② 竹の子掘りの計画
- ③ 小比企地区農園の井戸掘削：2.5m掘削したが岩に突き当たり苦戦中。
- ④ 役員・スタッフの役割変更(援農窓口、農園管理者、名簿管理担当)など



イベント報告 ① 2/3(土)「たべるはたらくつながる」フェスタ(多摩南生活クラブ)

生協主催)に出展し、野菜の販売とすずしろ22のアピールを行いました。売り上げは39,850円でした。8.5kgの巨大な三浦大根がひときわ目をひきました。

② 料理教室 沢山の方と出会えた10年でした

2/3(土)すずしろ22「旬菜会」の料理教室を行いました。参加者は15名(会員外は11名)でした。約10年続けた料理教室の最終回です。蒟蒻作り、柚子胡椒作りから始まり、「旬の地場野菜を使った料理」を広く色々な方にご紹介したい。そんな思いから名をつけたメンバー4名で料理教室を続けてきました。野菜は勿論主役、青魚の料理や砂糖を使わないデザート作りも。男性の参加、親子での参加、いつものリピーターさん。いずれの皆さんも、「この料理は手軽に作れる」「この会は楽しい!」そんな声を頂きました。沢山の方に出会えました。振り返れば、大変なこともあったけれど、楽しかったな。それは素敵な3人のメンバーに恵まれたから。水島美登利さん、笹久保ヒロ子さん、岡田可津之さん お世話になりました。今後は、すずしろ22の活動とは少し離れますが、土に触れ、料理を作り、心を育む子どもへの「食農」活動を行って



この料理+のっぺい汁

いきたいと思えます。(佐藤瑞恵)



総会のお知らせ

令和6年度通常総会と講演会

日にち：2/25(日)

会場：エスフォルタアリーナ会議室 A (京王線狭間駅より徒歩 1 分)

時間：13:00~15:00 令和6年度通常総会

15:15~17:00 講演会「有機農法を振り返って」

講師：鈴木俊雄様 (農家会員。緑白綬有功章を受章)

★すでに欠席と提出いただいた方でもご都合つきましたら、出席してください。



イベントのお知らせ

① 竹の子掘り

今年は竹の子の表年との予想は当たるでしょうか。例年より開始日を早めました。

収穫した竹の子は、1kg350円で買い取りとなります。

- ・場所：常盤牧場竹林 (寺田町、大恩寺向かい)
- ・参加費：会員無料、非会員・小学生以上100円(保険代)、未就学児無料
- ・持ち物：つるはしやスコップ、竹の子を入れる袋、飲み物、汚れてもいい服装、すべりにくい靴でご参加ください。
- ・日にち：4/6(土)、7(日)、13(土)、14(日)、20(土)、21(日)、27(土)、28(日)、29(月) 雨天中止

・時間：8時~10時、10時~12時 (どちらかの時間帯で申込受け付けます)

・問合せ・申込：小西 (konishi@rice.ocn.ne.jp、090-5525-0205)

★天候により、日程が変更となる場合があります。必ず事前にお申し込みください。

★道路沿いにすすしろ 22 のオレンジ色の旗を立ててあります。



② 講演会『「世界で最初に飢えるのは日本」って本当ですか?』

日時：4月20日(土) 14:00~16:00 [13:30 開場]

場所：北野市民センター8階ホール

講師：鈴木宣弘氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授)

参加費：1000円 [学生無料]

申込：右QRコードより

主催：生活クラブ運動グループ八王子地域協議会

★農業に関するイベントは、すすしろ 22 主催でなくても、お知らせします。



事務局から

援農作業実績表への記入についてお願いします。

- ・氏名だけでなく、会員番号の記入もお願いします。
- ・氏名はカタカナで記入してもかまいません。
- ・特に数字は、はっきりと明確にお書きください。

わからないことがありましたら、援農サポータ 北尾 カ

(tkitao@ac.auone-net.jp 090-9834-5683) までお問合せください。



野草あれこれ

スイセン (水仙)

ヒガンバナ科スイセン属

多年草 (球根植物)。原産地は地中海沿岸。シルクロードを経て中国に伝わり、海流に乗って平安末期の日本に漂着したと考えられる。線形の葉は晩秋に伸びだし、粉白を帯びる。葉の中心から花茎が伸び、芳香のある花を5~7個横向きにつける。全草に毒性成分があり、食べると、嘔吐、下痢、頭痛などの症状が現れ、重篤な場合は死に至る。春先、葉をニラやノビルに、球根を玉ねぎやニンニクに間違えやすいので、注意方。学名のナルキッソスは、ギリシャ神話の美少年ナルキッソスに由来する。和名のスイセンは、中国名の水仙を音読みしたものである。

